

わたしのおすすめの一冊*絵本編

子ども読書の日(4月23日)及び子ども読書週間(4月23日~5月12日)に併せ、4月13日(火)~4月29日(土)に「あなたのおすすめの一冊を教えてください!」として、柏市立図書館所蔵の児童書に限り、図書館各館で投稿をいただきました。一般的な評価の高い作品のほか、お母さんからの育児中の思い出の1冊などバラエティに富んだリストになりました。

ご応募いただいた皆さま、ありがとうございました。(読み物編はまた後ほど!お楽しみに)

◆『時計つくりのジョニー』 こぐま社 エドワード・アーディゾニー 作 手先が器用でおとなしいジョニーが、一人で大時計を作る。様々な障害を乗り越えて、とうとう大時計を作り上げた時、今までちっとも認めてくれなかった、お父さんが「おまえはたいした子だ」と言ってくれるのです。リアルな時計作りの工程も面白い。小学校中高学年におすすめ。 *40歳代	◆『ピンポーン』 中川ひろたか 文 荒井良二 絵 偕成社 ねこ、いぬ、いろいろな動物の仲間達が出てきます。そして、宅配便屋さんがきて「お届け物でーす。」と言って続々と出てくるところが私は、おもしろかったです。お客様は、だれだろう、どんな動物だろうなど考えられるところもおもしろかったです。 *10歳代 サキッチ	◆『しゅくだい』 宗正美子 原案 いもとようこ 文・絵 岩崎書店 今日(こんにち)子供達は勉強勉強の毎日ですが、この本は、勉強以外の「しゅくだい」を出されます。それは「だっこ」。だっこしてもらう事が宿題なんてすてきだな 暖かみを感じた一冊でした。勉強も大事ですが、親子としての愛情が何よりも大切なんだと感じられた本でした。 *ゆう&みいの母	◆『ポケモンをさがせ』 相原和典 画 小学館 感じたことは、ポケモンをさがせという題名でなんだかわくわくする感じが、ただよってきました。おすすめのポイントは、ポケモンを探す以外にもクイズがあってよりたのしく“ポケモンをさがせ”を楽しむことができます。どんな人に読んでもらいたいかは、まだポケモンを知らない人に読んでもらいたいです。 *10歳代	◆『パパだいすきママだいすき』 やすいすえこ 作 いもとようこ 絵 岩崎書店 子どもも大好きな本ですが、親としても“パパとママがケンカしても本当は仲良しなんだよ、心配いらないよ”という事を子どもに伝えられるので良かったです。 *30歳代	◆『ワンガリの平和の木ー アフリカでほんとうにあったおはなし』 ジャネット・ウインター 作 BL出版 ワンガリ・マータイさんの自伝です。アフリカのケニアを緑豊かな土地に、グリーンベルト運動を通じてひたすら木を植えていき、みごとに緑豊かなケニアによみがえらせ、ノーベル平和賞を受賞。これから地球を守ってくれる子ども達に読んでもらいたい一冊です。 *60歳代 桃井尚代	◆『ねずみくん』シリーズ なかえよしを 作 上野 紀子 絵 ポプラ社 自分が幼い頃、大好きだった絵本です。今は仕事で、子供達に読むこと多く、図書館でよくかりていますが、今はシリーズがたくさんで驚きました。登場人物はほとんど同じで、どのシリーズも繰り返し楽しめる内容だと思います。ねみちゃんというガールフレンドの女の子もなかなか良いキャラクターですよ。乳児さんからでも、充分楽しめると思います。 *20歳代 佐々木	◆『ぼくひこうきにのったんだ』 わたなべしげお 作 おおともやすお 絵 あかね書房 読みやすいし、飛行機も乗って見た~い。 みんな読んでみてね? *9歳	◆『からすのパンやさん』 かこさとし 絵・文 偕成社 カラフルなカラスが子ども心に印象に残りました。カラスの家族全員でパンを作るページはどのパンもとっても美味しいで食べたかった!!いつか自分の子どもと同じパンを作りたいです。 *20歳代 さくらママ
◆『ミッケ!』シリーズ 小学館 ウォルター・ウイック 写真 ジーン・マルゾーロ 文 色々な物を探したりするのが思しろく、写真もすごくきれいで見ていてあきないです。ミッケのシリーズは色々ありますが、次から次へといろんなシリーズが見たくるのがミッケです。子どももそうですが、親子で一緒に探したり、楽しめる本です。	◆『ミッケ!』シリーズ 小学館 ウォルター・ウイック 写真 ジーン・マルゾーロ 文 色々な物を探したりするのが思しろく、写真もすごくきれいで見ていてあきないです。ミッケのシリーズは色々ありますが、次から次へといろんなシリーズが見たくのがミッケです。子どももそうですが、親子で一緒に探したり、楽しめる本です。	◆『せんたくかあちゃん』 さとうわきこ 作・絵 福音館書店 子どもが楽しそうに聞いていました。	◆『まちにはいろんなおがいて』 佐々木マキ 文・写真 福音館書店 今は絶版になってしまっている写真絵本。日頃なにげなく目にする街角の風景がこの本を読むと少し違って見えてくる。素敵な絵本です。信号機のスイッチ、マンホールのフタ、知らない人の家に「こんにちは!!」「いってきまーす!」「げんき?」なんて話しかけたくなるような楽しい毎日になる小さい子から大人までおススメの一冊です。 *30歳代 ほしの子	◆『バムとケロ!』シリーズ 島田ゆか 作・絵 文渓堂 どんな時でも、いつも一緒に仲良しのバムとケロが楽しい時間を過ごす様子が、子どもにも分かりやすく明るい色彩で、描かれています。全4巻&同作者の「ガラゴ」シリーズにも、同じ登場人物が出てきたり、子ども達と探しながら何度も借りて楽しんでいます。 *4才 Kojito	◆『せかいのひとびと』 ピーター・スピナー 絵・文 評論社 世の中にはいろいろな人々がいることがわかって子どもがとてもよろこんだ。 *30歳代	◆『ジップくんこんどはなにになるの』 シルビア・ケイブニー 作 サイモン・スターントン 絵 評論社 ジップくんが家にあるもので色々な人に変身!ジップくんのはりきり具合とねこのパジャマの様子がおもしろくて長女が4~5才のころお気に入りでした。今は次女がはまっています。 *30歳代	◆『ねないこ だれだ』 せなけいこ 作・絵 福音館書店 子どもが寝ない時に自分で思い出してこの本を出してと言います。時計も気にする様になって9:00になるとあっと言って楽しそうにしてます。 *30歳代	
◆『ざぼんじいさんのかきのき』 すとうあさえ 文 織茂恭子 絵 岩崎書店 小学校低学年1年、2年向き ざぼんじいさんのケチンボさとおばあさんの、どんなにいじわるされてもめげないたくましさ、こういう強さを身につけてほしいと思った一冊です。 *60歳代 桃井尚代	◆『ぱくひこうきにのったんだ』 わたなべしげお 作 おおともやすお 絵 あかね書房 読みやすいし、飛行機も乗って見た~い。 みんな読んでみてね? *9歳	◆『おしくら・まんじゅう』 かがくいひろし 作 ブロンズ新社 絵がかわいくて単純、ラストのオチもおもしろい。小さい子どもにも楽しく見せられると思います。同じ著者で『だるまさんの』『だるまさんが』もおススメです。 *30歳代 絵本好き	◆『おふとんかけたら』 かがくいひろし 作 ブロンズ新社 子どもさんにたくさん読んでもほしい。 *30歳代 絵本好き	◆『キツネのホイティ』 シビル・ヴェッタシンハ 作 福音館書店 お話しに出てくる、歌が楽しいからです。 *30歳代	◆『ホットケーキできあがり!』 エリック・カール 作・絵 偕成社 ホットケーキミックスで簡単に作れます...こんなにも 大変なことなんだとあらためて思いました。便利な世の中を良い意味悪い意味で考えてほしいと感じる一冊でした。	◆『うずらちゃんのかくれんぼ』 きもとももこ 作 福音館書店 とてもやわらかい絵で色もあたたかく親子で何度も読みました。現在4才の息子の出産祝いでいただいた本で大切にしています。 *30歳代 おうちやんママ	◆『はらぺこあおむし』 エリック・カール 作・絵 偕成社 色がきれい、穴が面白い、蝶の誕生がわかりやすい。 *60歳代 佐々木	
◆『はなはな』 岩崎ちひろ 作 現在35歳の息子が1歳頃、1ヶ月近く毎日読んで持ってきたものでした。絵がかわいく、文もリズミカルで読んで心地良い。子どもはおふろが大好きだし、自分でパンツや服を脱いだり着たりできるようになった、なりたいと思う子どもの心にぴたつてくるのでしょうか。 *60歳代 夏目允子	◆『ノンタン』シリーズ おおともやすおみ・おおともさちこ 作・絵 偕成社 絵がかわいくて読みやすいと思います。あと色々と学べます。	◆『しづくちゃん』 ぎぱりつこ 作・絵 岩崎書店 4コマでとても読みやすいからです。 *6歳 M. S しづくみたいでかわいい。 *8歳 黒岩美帆						

◆『おしくら・まんじゅう』 かがくいひろし 作 ブロンズ新社 絵がかわいくて単純、ラストのオチもおもしろい。小さい子どもにも楽しく見せられると思います。同じ著者で『だるまさんの』『だるまさんが』もおススメです。 *30歳代 絵本好き	◆『おふとんかけたら』 かがくいひろし 作 ブロンズ新社 子どもさんにたくさん読んでもほしい。 *30歳代 絵本好き	◆『キツネのホイティ』 シビル・ヴェッタシンハ 作 福音館書店 お話しに出てくる、歌が楽しいからです。 *30歳代
◆『のれたよ、のれたよ、自転車のれたよ』 —「生きてます、15歳。」より』 ポプラ社 井上美由紀 文 狩野富貴子 絵 未熟児網膜症で生まれた女の子が、おかあさんと二人で力強く生きて行くのだが、自転車にまで乗れるようになる。その努力には計り知れないたくましさがあり、小学生の子ども達にも理解してもらえそうな気がする。 *60歳代 寺田美紀子	◆『ホットケーキできあがり!』 エリック・カール 作・絵 偕成社 ホットケーキミックスで簡単に作れます...こんなにも 大変なことなんだとあらためて思いました。便利な世の中を良い意味悪い意味で考えてほしいと感じる一冊でした。	
◆『みみかきめいじん』 かがくいひろし 作 講談社 読んだ後、心がほっこりする。読み聞かせに最適。「〇〇うをあげたな。」というセリフが我家でブームになった。 *40歳	◆『ノンタン』シリーズ おおともやすおみ・おおともさちこ 作・絵 偕成社 絵がかわいくて読みやすいと思います。あと色々と学べます。	◆『しづくちゃん』 ぎぱりつこ 作・絵 岩崎書店 4コマでとても読みやすいからです。 *6歳 M. S しづくみたいでかわいい。 *8歳 黒岩美帆
◆『いつたでしょ』五味太郎 作 偕成社 繰り返し、絵が原色でわかり易い、読むと子どもがわらう。子どもの行動と絵本の内容が同じなので子どもが共感して話をよく聞く。		
◆『せんたくかあちゃん』 さとうわきこ 作・絵 福音館書店 子どもが楽しそうに聞いていました。	◆『まちにはいろんなおがいて』 佐々木マキ 文・写真 福音館書店 今は絶版になってしまっている写真絵本。日頃なにげなく目にする街角の風景がこの本を読むと少し違って見えてくる。素敵な絵本です。信号機のスイッチ、マンホールのフタ、知らない人の家に「こんにちは!!」「いってきまーす!」「げんき?」なんて話しかけたくなるような楽しい毎日になる小さい子から大人までおススメの一冊です。 *30歳代 ほしの子	◆『よるくまクリスマスのまえのよる』 酒井駒子 著 白泉社 2,3才の小さい子どもの気持ちが本当に描かれています。子どもと一緒に読んで下さい。ママもかわいい夢の世界を旅する、すてきな気持ちになりますよ。 *いけだとしえ
◆『ぱくひこうきにのったんだ』 わたなべしげお 作 おおともやすお 絵 あかね書房 読みやすいし、飛行機も乗って見た~い。 みんな読んでみてね? *9歳	◆『ねずみくん』シリーズ なかえよしを 作 上野 紀子 絵 ポプラ社 自分が幼い頃、大好きだった絵本です。今は仕事で、子供達に読むこと多く、図書館でよくかりていますが、今はシリーズがたくさんで驚きました。登場人物はほとんど同じで、どのシリーズも繰り返し楽しめる内容だと思います。ねみちゃんというガールフレンドの女の子もなかなか良いキャラクターですよ。乳児さんからでも、充分楽しめると思います。 *20歳代 佐々木	◆『バムとケロ!』シリーズ 島田ゆか 作・絵 文渓堂 どんな時でも、いつも一緒に仲良しのバムとケロが楽しい時間を過ごす様子が、子どもにも分かりやすく明るい色彩で、描かれています。全4巻&同作者の「ガラゴ」シリーズにも、同じ登場人物が出てきたり、子ども達と探しながら何度も借りて楽しんでいます。 *4才 Kojito
◆『ざぼんじいさんのかきのき』 すとうあさえ 文 織茂恭子 絵 岩崎書店 小学校低学年1年、2年向き ざぼんじいさんのケチンボさとおばあさんの、どんなにいじわるされてもめげないたくましさ、こういう強さを身につけてほしいと思った一冊です。 *60歳代 桃井尚代	◆『からすのパンやさん』 かこさとし 絵・文 偕成社 カラフルなカラスが子ども心に印象に残りました。カラスの家族全員でパンを作るページはどのパンもとっても美味しいで食べたかった!!いつか自分の子どもと同じパンを作りたいです。 *20歳代 さくらママ	◆『せかいのひとびと』 ピーター・スピナー 絵・文 評論社 世の中にはいろいろな人々がいることがわかって子どもがとてもよろこんだ。 *30歳代
◆『ぱくひこうきにのったんだ』 わたなべしげお 作 おおともやすお 絵 あかね書房 読みやすいし、飛行機も乗って見た~い。 みんな読んでみてね? *9歳	◆『ジップくんこんどはなにになるの』 シルビア・ケイブニー 作 サイモン・スターントン 絵 評論社 ジップくんが家にあるもので色々な人に変身!ジップくんのはりきり具合とねこのパジャマの様子がおもしろくて長女が4~5才のころお気に入りでした。今は次女がはまっています。 *30歳代	◆『ねないこ だれだ』 せなけいこ 作・絵 福音館書店 子どもが寝ない時に自分で思い出してこの本を出してと言います。時計も気にする様になって9:00になるとあっと言って楽しそうにしてます。 *30歳代

◆『じごくのそらべえ 一桂米朝・上方落語・地獄八景より』 田島征彦 作 童心社 地獄に落ちた4人の男達、それぞれの職業をいかして、さてさてどうなるのでしょうか。 *50歳代	◆『それはすごいなりっぱだね！』 たかはしかずえ 絵 いちかわけいこ 文 アリス館 子どもの成長をみながらほめて育てていく。自分は出来なかったから、是非、読んでもらって、ほめてやってほしい。入園、入学時など。 *50歳代	◆『とりかえっこ』 さとうわきこ 作 二俣英五郎 絵 ボプラ社 読みきかせには向かないけど子どもと喜んでいつしよによめる。細かい所に配慮されていてとても楽しい。 *30歳代	◆『くらーいくらいおはなし』 ルース・ブラウン 作・絵 佑学社 小学生どの学年の教室で読んでも、とってももりあがる本です。自分で買おうと思いましたが、出版されてなくて残念です(※)。必ず子どもが喜んでくれる一冊です。本当におすすめ！ *36歳 あらい ※ 残念ながら絶版になってしまっています。(図書館)
◆『花さき山』 齊藤隆介 文 滝平二郎 絵 岩崎書店 何度も読んでも心がじんとする。「がまんをすると花が咲く」本当にこういう気持ちを、今の子ども達に伝えたいというか分かってほしいと思う。 *60歳代 Y・K	◆『ライオンさんカレー』 夏目尚吾 作・絵 チャイルド本社 カレーライスを作るという絵本です。にんじんを切ったり…と、最後にかわいいライオンのカレーができるという話で、子どもが、ライオンさんカレー食べないと作ってあげました。作り方もわかるので、子どもとカレーを作るのも楽しいと思います。 *30歳代	◇「バーバパパ」シリーズ アネット・チゾン、タラス・ティラー 作 講談社 キャラクターが個性あって面白いから。	◆『さるのオズワルド』 エゴン・マチーセン 作 こぐま社 はじめは、子どもたちにとってもとっかかりやすい、言葉あそびをまじえながらすんでいますが、大人でもなかなか言えないそのひとことを口にすることの大切さに、はっとさせられます。もし、何かをがまんしていることのあるお子さんに、手にとっていただきたい一冊です。 *30歳代 えびつちい
◆『ものぐさトミー』 ペーン・デュポア 作・絵 岩崎書店 とにかくなまけもののトミー。朝起きてから寝るまですべての動作を機械でやってもらいます。ちょっぴりうらやましい一面も… 親子で楽しめます！ *30歳代 ぴんぽんぱんこ	◆『ぞうくんのさんぽ』 なかひろたか 作・絵 福音館書店 線がすっきりしているので絵が良い。 *60歳代	◆『ぞうくんのさんぽ』 なかひろたか 作・絵 福音館書店 線がすっきりしているので絵が良い。 *60歳代	◆『ウェズレーの国』 あすなろ書房 ポール・フライシュマン 作 ケビン・ホークス 絵 ちよつと変わっていつも一人ぼっちのウェズレーが、夏休みの自由研究として自分だけの文明を作る。想像力も知的好奇心もくすぐられる、夢いっぱいのお話。小学校中高年におすすめ。 *40歳代
◆『くろくんとなぞのおばけ』 なかやみわ 作・絵 童心社 子どもが読んでいてもワクワクドキドキでかなり本の中に入っています。ワクワクドキドキの始末は、そう言う事だったのか…と、親子で感動できます。親の私が涙してしまいました。心にじんとする本です。 *30歳代	◆『葉っぱのフレディ 一いのちの旅』 レオ・バスカーリア 作 島田光雄 絵 童話屋 葉っぱの四季を通じて生命の喜び、厳しさ、非情さなど深いテーマがある。大人も子どもも年令相応の発見、感動が得られると思う。 *50歳	◆『ねえ、どれがいい？』 ジョン・バーニングガム 作 評論社 幼児から低学年の子ども達へ 1ページづつ一緒にページをめくりながら…。「ねえどれがいい？」と指しながら…。優しい絵の中に入りこんで遊びましょう！！ *40歳代 きくちゃん 普通の生活では、ありえないシチュエーションばかりで、子どもも選ぶのに困ったり迷ったりしながら楽しんでいました。何度も読んではしがり、その度に違う答えを選んだりして理由もその度に考えたりと、色々な楽しみ方があって良いと思います。4才くらいからよく読んでいました。 *30歳代	◆『ぐるんぱのようちえん』 西内ミナミ 作 堀内誠一 絵 福音館書店 はじめは小さくて泣き虫のぞうのぐるんぱがいろんなところで、いろんな経験をするうちにとってもたくましくなり、最後に小さい子どもたちのために幼稚園を開く話。絵も明るい色でかわいいです。 *40歳代 K
◆『こんとあき』 林明子 作 福音館書店 きつねのお人形のこんとお出かけをする時に起きる色々な事件にはらはらドキドキしつつ、かつあたたかい気持になれる本です。ストーリー性があるので3才位からおすすめです。キツネのコンがしつぽをはされたり犬に連れていかれる場面は臨場感があります。林明子さんの絵を娘は大好きです。 *30歳代 いのうえゆい	◆『いたずらきかんしゃちゅうちゅう』 バージニア・リー・バートン 作・絵 福音館書店 我が家の子達が大好きでした。 *60歳代 鶴田道子	◆『ぶんぶんぶるるん』 バイロン・バートン 作 ほるぶ出版 終わりのないお話をたのしめる。親子で、みんなで読んでもらいたい。 *50歳代	◆『おさんぽトコちゃんトコトコ』 宮西達也 作・絵 教育画劇 トコ、トコ、トコといっしょに読んでいるように1年生は声を出してくれます。びっくりしたり、笑ったり楽しい絵本です。 *60歳代 桃井尚代
◆『アンガスとねこ』 マージョリー・フラック 作・絵 福音館書店 アンガスという犬がねこを知り、ねこもアンガスの気持ちに触れていくお話です。余分なものない絵、文章の繰り返し、あいくるしいアンガスとねこの表情、落ちingて絵本の世界に入り込め、二人(二匹)の気持ちに近づけます。小さい子から大人までおすすめです。 *30歳代 稲本順子	◆『白黒とカラーのページが交互にあり、次に起こることや、動作を子どもと一緒に考えながら読むことができ、子どももとても楽しんで読んでいました。アンガスという犬が主人公なので、実際の犬もとても好きになったようです。』 *30歳代 八橋恵理 (『アンガスとねこ』と併せて)	◆『あなたをずっとずっとあいしている』 宮西達也 作・絵 ポプラ社 息子が幼稚園生だった頃、書店で「好きな本を選んでいいよ」の声に、この本を持ってきた時は、表紙の絵を見て正直「この本かあ」と少しがつかりした覚えがあります。でも、でも読んでびっくりジーンときて涙がこぼれました。それ以来家族で宮西達也さんのファンになり特にティラのサウルスシリーズは何度読んでも、心にジーンとしみてきます。女の子も表紙の絵で読まずきらいにならずに一度読んでみて下さい。泣いちゃいますよ。 *30歳代 こなみ	◆『てん』 ピーター・レイノルズ 作 あすなろ書房 どうせ私なんか…とか、やってもムリとか、最初からあきらめちゃう人に読んでもらいたいな。 *40歳代 夢は世界一周
◆『まゆとおに』 一やまんばのむすめ まゆのおはなし 富安陽子 文 降矢なな 絵 福音館書店 やまんばのむすめまゆのやんちゃぶりにおにもたじたじ。降矢ななさんの絵もとっても素敵です。他にもシリーズがあります。 *40歳代	◆『ごめんね ともだち』 内田麟太郎 作 降矢なな 絵 偕成社 *8歳	◆『てぶくろ 一ウクライナ民話』 アルビン・トレッセルト 再話 ヤロスラーバ 絵 のら書房 次々と動物が出てきて、手袋に入るのが皆一緒に楽しそう。「これで3匹」と手で数えるのと、「どうぞ」と迎える気持ちを教えてあげられます。私も子供の時から好きな本で子供が産まれてから家族にプレゼントしてもらいました。3歳の娘も「てぶくろ」が大好きです。 *30歳代 かおりん	◆『しろくまちゃんのほつとけーき』 わかやまけん 著 こぐま社 2歳の娘はセリフを覚える位好きな一冊です。「だれかボールをおさえてて」の文の時には本の中のボールを実際におさえてあげていました。こぐまちゃんとしろくまちゃんがおりなす日常生活に直結したお話なので愉しく読めますし、文もそれ程多くないので読みやすいと思います。 *30歳代 いのうえゆい

※ 原則として推薦文のままですが、読みやすいよう一部補足等を行ったところがあります。
ご了承ください。

柏市立図書館 2002.07(改訂)

